

形成外科領域における移植片等に関する臨床病理学的研究：特に移植軟骨、人工物の病理組織学的変化について

1. 研究の対象

2000年1月～2023年3月に、当院で種々の疾患にて関節軟骨、耳介軟骨、鼻軟骨を切除された方（60歳以下）

2. 研究目的・方法・期間

美容形成外科領域で移植される軟骨、異物等の生体内での病理組織学的変化は、よくわかっていません。特に、関節軟骨は血管を介さずに関節液で栄養されて成長することが知られていますが、皮下に移植されたあとも通常どおり生存あるいは大きく成長するかどうか不明です。他国あるいは国内の医療施設で、美容形成のためのプチ整形・移植術を受けたあと、不具合が生じて移植片を摘出され、その摘出材料の病理診断、判定が求められることがあります。その解釈方法に明確な基準はありませんし、どうなれば異状と判定できるのかもわかっていません。このたび摘出された様々な種類の軟骨、異物の組織学的変化を研究することになり、それらの移植片変化の正常コントロールとして、当院で種々の疾患で切除された骨、軟骨組織を検索させて頂く研究計画を立てました。

この研究により、血管を介さずに皮下等に移植された軟骨や人工物がどのような経緯（組織変化）を示すかが明確になることが期待されます。加えて、近年、事故や大手術の際に、再建外科と称される機能を温存する手術が発展してきていますが、この研究により、軟骨等を移植する再建外科の発展に寄与できると考えられます。

研究期間は、防衛医科大学校長承認後から令和6年3月までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、年齢、性別、画像診断情報等

試料：病理組織標本（生検・手術時）

4. 研究に用いる試料・情報の管理者

試料・情報の利用については、研究用のID番号を作成し、直ぐには個人を特定できないように加工したもの（仮名加工情報）を作成します。作成時の情報については研究責任者が厳重に管理します。また、加工後の情報についても、この研究に参加する研究者のみで利用します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者）：

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2 防衛医科大学校臨床検査医学講座

氏名：松熊 晋

電話：04-2995-1505（内線 3200, 3320）対応時間：平日 9:00～17:15

FAX: 04-2996-5192